

京都嵯峨学園 教育目標

「地域に学び、豊かな人間力を育む小中一貫教育をめざす」

9年間の学びと育ちの連続性

京都市立嵯峨小学校

学校教育目標

「自分らしく かがやく子」

～自分大好き、友だち大好き、キラキラ笑顔～

目指す子ども像

学びを楽しむ子

きまりを守る子

友だちにやさしい子

元気な子

平成26年度 学校経営方針

- * 学校は学ぶ場所という意識（児童・教職員・保護者・地域）の徹底
- * 「楽しく学べる」⇒「学ぶ楽しさを培う」授業の工夫
⇒「学び続ける子ども」の育成
- * 豊かな学びの場に基づいた確かな力をつける授業の創造
- * 「すべての児童」を教職員組織全体が育てる体制づくり
- * 「自尊感情が高い子」「社会性が高い子」の育成
- * 計画的であるとともにその場に応じた人権教育
- * 自分の健康、安全を自分で守れる健康教育・安全教育

組織力（学校力）を高める

- ・積極的な学校運営への参画
- ・主任を中心に学年組織の活性化
- ・分掌各主任を中心に組織の活性化

確かな学力

- ・コミュニケーション能力の育成⇒英語活動、外国語活動を核に
- ・思考力、判断力、表現力の育成⇒社会科、生活科、生活単元学習を核に
- ・各種学力調査結果の指導への活用
- ・複数指導体制の活用

豊かな心

- ・学びを支える学習規律の育成
- ・学習集団としての高まり
- ・規範意識の醸成（学校でも、社会でも）
- ・3つの「あ」の徹底
- ・「なかまウィーク」における人権教育の充実
- ・たて割り活動の充実

健やかな体

- ・自分の健康と安全を守る力の育成
- ・開かれた保健室経営による子どもの居場所づくり
- ・歯磨き指導の徹底
- ・子どもの立場に立った給食指導を通じた食育の推進
- ・自分の身を守る実践的な避難訓練の実施

教職員個々の力を高める

- ・校内外の研修への積極的参加
- ・ベテラン中堅教員の力量向上
- ・若手研のさらなる活性化
- ・積極的な授業公開
- ・子ども主体の授業づくり

「開かれた学校づくり」

（学校評価の活用，HP，学校だよりで情報公開）

地域との連携

学校運営協議会との連携（学校関係者評価）
地域諸団体との連携
地域の人材、素材を教材化し、授業に生かす

家庭との連携

P T Aとの連携
保護者と課題を共有する（保護者アンケート）
家庭に寄り添った対応
家庭学習の習慣化